

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.14 >

「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」顕彰校紹介

顕彰校における他の学校に参考となり優れた成果のあった実践内容等を紹介します。

【優秀賞】

東金市立丘山小学校



高齢者疑似体験の様子

実践内容

- ① パラスポーツの手作り新聞作成
 - ・調べて分かったこと等を記事に新聞作成
- ② パラアスリートとパラスポーツ体験・交流（あすチャレ！スクール）
 - ・メダリストによる講話、体験活動
- ③ 外部講師の活用
 - ・市や福祉協議会等に講師を依頼し、認知症サポーター養成講座や高齢者疑似体験
- ④ パラスポーツ（ボッチャ）体験
 - ・特別支援学校と交流
 - ・事前学習で『I'm POSSIBLE』教材を活用

実践成果（児童の変化等）

- ・パラスポーツは障害のある、なしに関係なく一緒に楽しめることが分かった。
- ・自分の夢に向かって努力し、挑戦する気持ちを大切にしたいという気持ちを持つことができた。
- ・家族や身近な人、学校の他の児童に対して、自分ができることを考えるようになった。

【優秀賞】

市原市立市原小学校



車椅子バスケットボール体験の様子

実践内容

- ① 心のバリアフリーについての授業
 - ・事前学習で『I'm POSSIBLE』教材を活用
 - ・バリアフリーに関して
 - ・ユニバーサルデザインに関して
 - ・LGBTQに関して
- ② 特別支援学校訪問・交流
- ③ 外部講師を活用し、各種体験活動等
 - ・市や地域団体等の協力により、車椅子、高齢者、車いすバスケット（あすチャレ！）、スポーツ義足、認知症、視覚障害のある方による音楽ライブ等の実施
- ④ 心のバリアフリー便りを継続的に発行
 - ・実践の普及啓発として全11号発行

実践成果（児童の変化等）

- ・「物のバリアフリー」で解決できても、「心のバリアフリー」がないと本当のバリアフリーにならないことを理解した。
- ・多様性への理解が深まり、他の人を尊重した考えた方・行動ができるようになった。
- ・授業の参観や、便りを讀んだ保護者から、とても良い取り組みなので継続してほしいと要望があった。